

## 劇症型溶血性レンサ球菌感染症について streptococcal toxic shock syndrome (STSS)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出数が全国的に増加しています。感染症発生動向調査では令和6年第26週(6/24~6/30)時点で、既に過去最多の年間届出数となっています。現時点で和歌山市の動向に大きな変化はないものの、今後の動向に注意が必要な状況が続いています。

### ■劇症型溶血性レンサ球菌感染症年間届出数(※2024年第26週時点)

	2024 R6※	2023 R5	2022 R4	2021 R3	2020 R2	2019 R1	2018 H30	2017 H29	2016 H28	2015 H27
全国	1145	949	708	622	718	894	694	587	494	415
和歌山県	4	5	7	4	8	11	3	12	4	3
和歌山市	2	3	4	4	7	8	0	10	3	0

本疾患の臨床症状は初期には咽頭痛、発熱、消化器症状(食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢)、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋肉痛などが見られることが多いですが、明らかな前駆症状がない場合もあります。後発して、発症から24時間以内に急速に進行する軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、播種性血管内凝固症候群(DIC)、肝腎不全などの多臓器不全を来します。

国立感染症研究所が分析したリスク評価によると、30歳代以上で届出数が多く、推定感染経路は創傷感染、感染経路不明が多くなっており、はっきりした感染巣が不明な場合が多いことや数時間単位で症状が進行することがあるため、本疾患の可能性を鑑別診断に挙げることで、迅速な初期評価、診断と適切な治療、管理が極めて重要です。

つきましては、国立国際医療研究センターにおいて、「劇症型溶血性レンサ球菌(STSS)の診療指針」が公開されていますので、ご了知いただくとともに、5類全数把握疾患である本疾患を診断した場合は届出いただきますようお願いいたします。

国立国際医療研究センター：劇症型溶血性レンサ球菌(STSS)の診療方針

URL:<http://dcc-irs.ncgm.go.jp/material/manual/stss.html>



厚生労働省ホームページ：劇症型溶血性レンサ球菌(STSS)

URL:[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555\\_00003.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555_00003.html)



和歌山市感染症情報センターでは、医療機関に向け随時感染症速報を発信しています。

URL:<http://www.kansen-wakayama.jp/blog/diary.cgi>

